

## PRESS RELEASE

## 【DX 推進とリスクリングに関する調査】

## DX 推進の目的が「業務効率化」にとどまる企業が 5 割

-DX 推進企業の 4 割は「業務効率化」を実感した一方で 3 割は実感なし-

【2023 年 11 月 10 日】

世界 30 カ国でデジタルとエンジニアリングを融合させたソリューションを提供するグローバルリーダーである AKKODIS の日本法人で、企業および組織へエンドツーエンドのコンサルティングサービスを提供する AKKODIS コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎 健一郎、「以下、AKKODIS」）は、「DX 推進とリスクリング」に関する実態を企業へ調査し、レポートを公開しました。

## 【調査の背景】

近年では、デジタル技術の進歩により、ビジネスのあり方が大きく変化しています。こうした変化に対応するため、企業には、デジタル技術を活用して、ビジネスモデルや事業オペレーションを変革する DX が求められています。

経済産業省は、DX が実現しない場合、日本全体の経済損失は 2025 年以降に年間最大 12 兆円になると試算<sup>※</sup>。この問題は「2025 年の崖」と呼ばれ、レガシーシステムからの脱却、デジタル社会基盤の形成と早期実行が必要であると警鐘を鳴らしています。

大企業を中心に DX 推進に向けた組織の組成や仕組みづくりが進んではいるものの、残念ながら全てが成功しているとはいえません。DX 成功には、社員の理解と協力はもちろん、同時に担い手となる人財のリスクリング支援が必要不可欠です。

AKKODIS は、DX 推進や DX 戦略策定のコンサルティング、DX 時代に必要な「デジタル活用」と「課題解決」を結びつけられる人財の育成をサポートしています。今回の調査により、DX 推進における課題や悩みを抱える企業に対して、課題解決へと導くヒントを提示します。

※DX レポート～IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開～（サマリー） | 経済産業省

[レポート全文はこちら](#)

業務改善にとどまる DX 推進とリスクリング。その課題と成功へのポイント。



### 【調査結果サマリー】

- ✓ **全体の約 5 割（48%）が、DX 推進の目的や期待を「業務効率化・生産性向上、テレワークの推進である」と回答。**目的が「業務効率化」の文脈にとどまる傾向が強い。
- ✓ DX を推進した企業のうち 4 割弱（43%）が、「業務効率化」の効果を実感している一方で、**3 割強（35%）は「特に DX による効果を実感していない」と回答。**DX を推進したにもかかわらず、サービス体験の改善やビジネスの付加価値向上といった効果を実感できた企業は少ない。
- ✓ **DX 推進の課題として「DX 人材の育成」「従業員の IT リテラシーの向上」を挙げる企業が全体の 4 割（40%）。**また、全体の 7 割（72%）が DX 推進には「従業員のリスキングが必要である」と回答。
- ✓ 従業員のリスキングを進める上での課題として、全体の 5 割強（54%）が「人材育成のノウハウが不足している」「育成すべき人材要件・スキルマップが策定できていない」「育成後の評価やキャリアパスを設計できていない」と回答。**多くの企業で「DX 人材の育成に苦戦している」。**

### 【本調査からの提言】

調査の結果、多くの企業において DX 推進が「業務効率化」の文脈にとどまり、組織全体のデジタル化や新しい価値・サービスの創造には結びついていないことが明らかになりました。主な原因として、自社の現状・フェーズを把握しないまま DX を推進していることや、DX 実現によって得られる「業務効率化・生産性向上」といった効果を目的として捉えていることが挙げられます。

現状多くの企業が、DX プロジェクトやチームメンバーをけん引する DX 人材の不足を解消するために、リスキングの必要性を感じています。その一方で、人材育成のノウハウや、評価・キャリアパスの設計といった課題に直面し、リスキングを進められていないことがわかりました。

DX 推進には、ハード面（システム）の変革と、ソフト面（リスキング・人材育成）の充実が必要不可欠です。「経営層の意識改革」「強制的なシステムの移行」「比較的短期間で成果をあげるクイックウィン」といった 3 つのポイントを実行することが、DX を成功させ、DX 時代の競争を勝ち抜くことにつながります。

### 【調査概要】

調査対象：『HR プロ』会員の、企業の人事責任者・担当者

サンプル：197 社（うち、上場企業が 57 社、非上場企業が 140 社）

実施期間：2023 年 10 月 20 日～11 月 2 日

調査方法：インターネット調査

調査主体：AKKODiS コンサルティング株式会社

## **AKKODiS コンサルティング株式会社について**

AKKODiS は、コネクテッドデータの力を活用し、デジタルとエンジニアリングを融合させたソリューションを世界 30 カ国で提供するグローバルリーダーです。

AKKODiS コンサルティング株式会社は、「日本を、課題解決先進国に。」というビジョンを掲げ、日本において事業を展開しています。戦略、プロジェクトマネジメント、テクノロジー、アカデミー等、多岐にわたる領域のコンサルタントを 10,000 名以上擁し、企業および組織のイノベーションを支援するエンドツーエンドのコンサルティングサービスを提供しています。上流領域のコンサルティングから、システム開発、教育、現場の保守・運用までを包括した、Consulting、Solution、Academy、Talent の 4 つのサービスを提供することで、組織の変革を伴走しながら支援しています。

【AKKODiS ウェブサイト】 <https://www.akkodis.co.jp/>

## **【本件に関するお問い合わせ先】**

AKKODiS Japan 広報

お問い合わせフォーム : <https://www.adeccogroup.jp/contact/pr>